

第 44 回 諏訪湖少年少女野球選手権大会 規定

1. 試合について

(1) 高学年の部

試合は 6 回戦とし、試合時間は 1 時間 20 分を経過したら、新しいイニングに入らない。

決勝戦は 6 回戦とする。

全試合において、1 時間を過ぎて 10 点差以上の場合は「コールドゲーム」とする。

同点の場合はタイブレーク方式 (0 アウト 1・2 塁から) を採用する。

タイブレーク方式も同点の場合、最長で 2 回まで行う。ただし、その時点でも同点の場合は、抽選とする。

(2) 低学年の部

試合は 5 回戦とし、試合時間は 1 時間 10 分を経過したら、新しいイニングに入らない。

決勝戦は 5 回戦とする。

全試合において、1 時間を過ぎて 10 点差以上の場合は「コールドゲーム」とする。

同点の場合はタイブレーク方式 (1 アウト 1・2 塁から) を採用する。タイブレーク方式も同点の場合、最長で 2 回まで行う。ただし、その時点でも同点の場合は、抽選とする。

(3) 中学の部

試合は 7 回戦とし、試合時間は 1 時間 30 分を経過したら、新しいイニングに入らない。

決勝戦は 7 回戦とする。

決勝戦以外は 5 回以降 7 点差でコールドゲームとする。

同点の場合、タイブレーク方式 (0 アウト 1・2 塁から) を採用する。タイブレーク方式も同点の場合、最長で 2 回まで行う。ただし、その時点でも同点の場合は、抽選とする。

2. 監督が抗議、または選手に指示する場合は、グラウンドに出てもよい。監督、コーチは、ベースコーチをする事ができない。
3. 小学生の金属スパイクの使用は禁止する (ゴム底スパイクは可)。
4. チーム内でのユニフォーム (監督・コーチのパンタロンも禁止)・アンダーシャツ・ストッキングの色・柄の違いは認めない。(連合チームは除く)
5. 背番号 監督は 30、コーチは 29・28、主将は 10 とし、選手は 0～99 とする。ベンチ入場人数は代表者 1 名、監督 1 名、コーチ 2 名、スコアラー 1 名、補助員 2 名以内、選手 26 名以内とする。
6. ベンチは、組み合わせの若番を 1 塁側とする。
7. 代表者は応援団も含めて、チームのすべての責任をもつこと。
8. ボークは「低学年の部」のみ、各投手の 1 回目は注意とする。
9. その他、野球規則・軟式野球連盟 競技者必携・大会細則による。
10. 日没、降雨、雷などで試合続行が不可能な場合また、環境省が発令する熱中症特別警告情報 (熱中症特別警戒アラート) 暑さ指数 (WBGT) に基づき (赤) 危険 指数 3 以上の場合は試合を中止

する。試合規定イニングの過半を完了して（高学年の部・中学の部は4回、低学年の部は3回）、尚且つその時点で点差がある時は正式試合とする。（上記条件を満たさない場合はノーゲームとし再試合を行う。因みに、上記以外の通常の試合であれば1回の表裏終了時に規定時間を過ぎていて点差があれば、その時点で試合は成立し正式試合となる）。

11. 日没、降雨、雷などで試合が中断した場合、その会場での再開が困難な場合は、試合同一日内で試合会場を変えて再開することもある。この場合、中断前の試合を継続して行うものとする。
12. 各チームは、試合開始予定時間の40分前に試合会場にて、所定の打順表を提出すること。
※打順表は、事前に監督もしくは実行委員に配布します。
13. 試合時間は繰り上がることがあるので、早めの準備をすること。
14. 捕手はヘルメット、レガース、プロテクターを必ず着用すること。また、次打者とベースコーチもヘルメットを着用すること。
15. 「低学年の部」では、投手・捕手間を15メートルにする。
16. 原則3回裏終了後グラウンド整備を行う（審判部の判断に任せる）1イニングが長くなった場合15分を目安に給水を設ける。

2023年7月8日 改訂

2024年7月28日 改正

2026年6月6日 改定